

令和6年度 静岡県景観セミナー（DX活用のまちづくり）

開催日時：令和6年7月17日 14:00～16:15
SHIPセミナーエリア
オンライン（ZOOM）

当日の進行次第

受講者 & アンケート結果

時間	内容
14:00-14:05	開会、主催者挨拶(約5分)
14:05-14:35	静岡県の取組 発表者:静岡県 景観まちづくり課 菅沼・中村 バーチャルシズオカの取組 点群+フリーソフトでここまでできる仮想空間
14:35-15:35	講演(約60分) 発表者:日本工営株式会社 副センター長 佐藤様 デジタルツインの未来予測と セシウムを活用した空間再現
15:35-16:05	事例紹介(約30分) 発表者:株式会社キャドセンター 古川様 3D都市モデルで「まち」を活性化！ デジタルDXで未来へつなぐ街づくり
16:05-16:15	全体質疑、閉会

研修資料(事例紹介を除く)は、右QRまたは↓のURL
にアクセスすると、令和6年度中は閲覧することができます。

<https://qr.quel.jp/om/84fhz4>



Q1：研修内容の理解度

十分理解できた
50%

理解できた
43%

どちらでもない
7%

9割以上の方が
理解できたと回答

Q2：研修の参考度

大いに参考になる
22%

参考になる
64%

どちらでもない
14%

9割近い人が業務の
参考になると回答

【研修の様子】



当日の研修の様子は、右QR又は↓のURL
にアクセスすると、動画を市長することができます。
【限定公開】

<https://qr.quel.jp/om/8p9nxs>



問い合わせ先

静岡県景観まちづくり課 担当：永井

TEL:054-221-3490/E-mail:keikan-machi@pref.shizuoka.lg.jp

Q3：研修の感想

研修に関する感想

- 映像表現で多くの方の共通認識を得られることから、景観や観光、防災等様々な分野での3D都市モデルが利用される可能性を実感しました。3次元点群データが他のオープン情報と併せて利用されることにより、さらに多くの分野で民間活用が進むことを期待しています。
- 点群データを取り巻く作業概要を垣間見れたことが参考になった。

研修に関する期待（ここを聞いたかった等）

- ゲームエンジンを実行するのに必要なPCスペックがわかるとなおよかった。
- 3D CADの使い方等、参考になった。実際、操作させていただけると思っていたので、説明のみだったのは、少し残念だった。
- この度は開催いただき、ありがとうございました。私は元々、土木業界の出身であります。現在は別の業種にて日常的にUnreal Engineを使用しています。私もUnreal Engineを教えるということをしておりますが、経験者からの知見で申し上げますと、もう少し用語の解説をされたほうが良いかと思いました。例えば「マテリアル」という言葉ですが、土木業界の方は、CAD製図基準的に「材料」といった意味で判断される人も中にはいるかもしれません。そのような方々向け（特に3Dに触れる機会が少ない自治体の方々）に説明内容を考慮することはとても大事かと思えます。また、テクスチャについても無料で使用できる「Quixel Bridge」を使用する方法もあるかと思えます。そういったところもご活用されると静岡県さまにおいても、もっと品質が高いものが作成できると思えます。

今後の活用（業務への展開）

- ARで現場の将来形を示す事例は、住民の経験的な理解となって想像しやすくなるため**広報の取組として活用したいと感じた**。夏休みに、地元の学生から未来の沼津駅をイメージした絵画を募ってコンテストを行うため、優秀賞の**モデル化もやってみたい**と感じた。
- TwinMotinなど、初めて知ったソフトも多く、非常に勉強になりました。**実際に自分でもインストールし、操作してみたい**と思えます。点群データは現在測量で活用していますが、地域社会における活用方法の具体例など、観ることが出来、未来に向け3Dデータや点群の活用方法は無限にあるのだなと改めて実感しました。VRや自動運転、地域活性化に向けた活用ITのなど、静岡県は進んでいると感じました。セミナーに参加させていただき、ありがとうございました。

Q4：その他の意見

今後の研修テーマ

- 県のオープンデータを活用した事例がもっと紹介してもらえると参考になる。
- 修景伐採や公共施設の塗替えなどで、実際にDXを活用した事例はあるか。ある場合はどのような効果を実感しているか教えて欲しい。

オンライン配信や電子申請に関する意見（次回に向けた反省事項）

- Webにて申し込む際、役職を入れる必要があったかと思えます。すべてカタカナだとエラーとなり入力できませんでした（私の役職は正しくは「プロダクションマネージャー」ですが、入力してもエラーとなってしまいました）。改善検討していただけると幸いです。
- 名簿がありましたが、参加者に配布するのではなく、開催者およびその関係者のみの閲覧としていただけますと幸いです。
- 司会者の声がこもっていて、非常に聞きづらかった。

その他

- デジタルツインを業務委託をする前にどのようなものが必要か。モックアップイメージみたいなものが必要か？
- 研修自体はとてもよかったが、DXを正式名称で言えないのはどうかと思った。
- 皆様にはお時間を頂きありがとうございました。現在、業務進行中ですが、今後もよろしくお願いたします。